

(平成 29 年 8 月試験研究業務月報)

試験研究課題：アカムツ（ノドグロ）の資源管理手法の開発

研 究

けた 桁びき網によるアカムツの資源調査

アカムツは、水深 100 m 以深のやや深い海に分布する魚で、口を開けて中をのぞくと喉の辺りが黒いことから、「ノドグロ」とも呼ばれています。アカムツは、近年、高級魚として価格が上昇し、底びき網漁業の重要種となっていますが、未成熟な小型魚も多く漁獲されていることから、適切な資源管理を行う必要があります。

そのため、当センターでは、本年度からアカムツの生態解明と持続的な漁獲方法の開発に取り組んでいます。7～8 月に海洋調査船「平安丸」による桁びき網操業を行い、アカムツが多く分布する水深帯や水温などの環境条件、漁獲サイズなどを調べました。その結果、アカムツの成魚と幼稚魚は同じ場所に生息していると推察され、幼稚魚を保護しつつ成長した魚だけを選択的に漁獲することが重要であると分かりました。今後も調査データを蓄積し、アカムツ資源の持続的な利用方法を提示します。



調査に使用した桁びき網

(鉄枠(写真左下)に漁網を取り付けた採集漁具)



漁獲されたアカムツ